

平成29年度

熊本大学理学部同窓会報

印刷・発行 平成30年4月

熊本市中央区黒髪2丁目39番1号

熊本大学 理学部同窓会

印刷 小野高速印刷(株)

会報発行に当たって

同窓生の皆様に於かれましては、日々ご健勝のこととお慶び申し上げます。熊本に大きな自然災害の爪痕を残した熊本地震から、早2年が経過しました。この間、キャンパス内建物の復旧工事は急ピッチで進み、工学部1号館（建て直し中）と旧第五高等学校関連の重要文化財を除いて、ほぼ完了しました。旧第五高等学校化学実験場（国指定重要文化財、化学遺産）の復旧に関わる同窓生の皆様からのこれまでのご支援では、300万円を超えるご寄附を賜りましたこと誠にありがとうございました。これらの重要文化財に関わる修復並びに耐震補強工事は、平成33年度の完成を目指して昨年10月より開始されました（写真参照）。

さて、同窓会の大きな役割は何か？それは人的な縦の糸と横の糸を強く結びつけ、強固な物的・精神的絆を同窓の編み目として太く強く深めることにあります。今回の自然災害ではこの同窓の絆を心から感じ、人と人との繋がりの大切さを、身を以て感じさせられました。熊本を遠く離れた地でご活躍の同窓の方々からは本学を思う温かいお言葉と多大なるご支援を賜り、同窓会会長としてさらに踏ん張らねばならぬと心を新たにしました次第です。この役割を時代に即した形で実現するために、来年度はまず、正式に理学部同窓会ホームページを立ち上げます。また、九州連合同窓会では理学部同窓会福岡支部と宮崎支部がほぼできましたので、東京連合同窓会や関西連合同窓会にリンクした理学部同窓会支部もそれぞれ立ち上げ、さらに繋がりを深めていきたいと考えております。

例年のごとく、現役同窓会会長としての仕事は平成29年4月4日（火）の入学式（理学部入学者203名、大学院自然科学研究科（修士）72名、同（博士）11名）と平成30年3月25日（日）の卒業式（理学士177名、修士理学83名、博士理学8名）に同窓会会長として出席し、同窓会の重要性を新たな同窓生に説くことです。毎年のことなが

ら、新しい同窓生が着実に増えて行くことは心強いばかりです。その他、第4回熊本大学九州連合同窓会（6月17日、宮崎）と工学部創立120周年記念式典・祝賀会（11月4日、熊本）が開催され、連合同窓会としての絆を深めました。11月5日（日）には平成29年度熊本大学卒業生表彰式が執り行われ、藤木素士様（第6回卒、水銀・大気汚染の研究）と大貝聖子様（第17回卒、数学教育）が理学部卒業生として表彰されました。続く第12回ホームカミングデーには近隣の同窓生が集い、旧交を温めました。

今年度の幹事会では理学部設立70周年記念大同窓会と、それに関連した「理学部70年のあゆみ」誌の刊行を提案しました。平成21年11月2日に新制理学部設立60周年記念理学部大同窓会を開催して平成31年でちょうど10年となります。同窓の皆様とまた集う良い機会と考えております。実は、第五高等学校に理学部と文学部および工学部が設置されて今年で120年目に当たります。現在の理学部の起源をどこにするかは種々議論のあるところではありますが、来年度に理学部と文学部およびそれぞれの同窓会を含めた合同の同窓会も計画されております。

平成29年度の活動を振り返り、新たに理学部同窓会に加わりました理学士並びに大学院修了者268名の新人同窓生もどうぞ温かく迎え入れていただきますと共に、これからも同窓生の皆様方の絆をより一層深め、理学部同窓会の存在価値を高めるべく活動して参ります。今後とも益々のご指導とご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

平成30年3月吉日

熊本大学大学院先端科学研究部
基礎科学部門化学分野教授
西野 宏
化学科第27回（昭和54年卒）

数 学 教 室

寒さがようやく和らぎ、春の訪れを感じ始めましたが、数学教室同窓会の皆様はいかがお過ごしでしょうか。熊本地震から2年が経とうとしていますが、被災した大学の復興作業も少しずつ進んでいます。同窓会の皆様に、数学教室の近況をご報告申し上げます。

まず、先生方のご異動について報告いたします。平成30年度1月より谷本祥先生が着任されました。谷本先生の専門は、代数幾何、数論幾何です。ニューヨーク大学大学院をご卒業後、ライス大学、コペンハーゲン大学でのポストドクターを経て、熊本大学へ赴任されました。そして、平成30年度3月をもちまして、成田宏秋先生が早稲田大学にご栄転されます。成田先生には、丁寧なご指導をしていただき、本当に感謝しています。新天地でのさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。

次に、学生の近況について報告いたします。現在、数学教室には3年生34名、4年生41名、博士前期課程17名、博士後期課程2名が在籍しています。4月には例年同様、3年生の歓迎会が開催さ

れました。数学教室内の交流が深まり、3年生が打ち解ける場ともなりました。専門科目の講義が始まった3年生は学修室を活用し、協力して勉強しています。仲間の存在が勉強への励みともなり、多くの議論を交わしながら数学への理解を深めています。4年生は卒業に向け、セミナーの準備や卒業論文の作成を夜遅くまで取り組んでいます。また、卒業後の進路を決定し、各々の進路に向けた準備も行っています。そして、大学院生は、学部で得た知識を基礎としつつ、より専門的なことを学んでいます。自分で考えて自分で理解するということに苦戦しつつ、その一方で、理解できたときの喜びや数学の面白さも感じています。これからも研究に精進していく所存です。

数学教室のさらなる発展のため、今後とも数学教室を見守り、またご指導いただけると幸いです。最後になりますが、数学教室同窓会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

大学院自然科学研究科博士課程前期1年

河内 珠衣

物 理 教 室

若葉がいちだんとさわやかに感じられる季節になり、春の日差しが心地よい毎日でございますが、物理科学同窓会の皆様はいかがお過ごしでしょうか。同窓会の皆様に物理科学講座の近況についてご報告申し上げます。

本年度、物理科学講座の在籍人数は、3年生45名、4年生33名、博士前期課程38名、博士後期課程11名です(H30.2.7)。平成29年11月には、外部の研究者を招いた国際シンポジウムISKSR5

が開催されました。本講座の細川伸也先生をはじめ、学生たちも精力的に発表しました。平成29年2月には、卒業論文発表会、修士論文発表会がありました。発表者一人ひとりが、日々の創意工夫と試行錯誤を積み重ねてきた努力の結晶ともいふべき研究成果を、熱意をもって発表しました。研究活動以外では、平成29年4月には3年生歓迎会があり、3年生は先輩や先生方と語り合い研究生生活とはどういったものなのかを知り、期待に胸を

膨らませているようでした。同年11月には「夢科学探検」が催され、多くの研究室が出展し、地域の方々と親睦を深めることができました。平成28年に起こった熊本地震から2年の月日が経過し、建物等は少しずつではありますが、元の風景に戻りつつあります。また、8月のオープンキャンパスも無事に開催することができました。来場してくださった学生や保護者の真剣な眼差しで説明を聞く姿がとても印象的で、その目は未来に向かって、輝いておりました。

このように、互いに協力し助け合うことで震災

前とほとんど変わらぬ日常を取り戻すことができました。全国の同窓会の皆様には、多大なるご支援を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。このつらい経験を乗り越えて、私たちはこれからも日々精進していく所存です。今後とも同窓会の皆様にはご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

自然科学研究科博士前期課程1年 山代 哲也

化 学 教 室

厳しい寒さも次第に弱まり、春の訪れが待ち遠しい季節になりましたが、理学部同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。皆様に理学部化学教室の近況についてご報告申し上げます。

初めに、平成30年2月より松田真生（まつだまさき）先生が准教授から教授へとご昇任されますことをご報告いたします。先生は物理化学がご専門で、熱い教育・研究姿勢に加えて非常にユーモア溢れる先生であることから、学生からの人望や信頼を集めておられます。

平成28年4月に発生した熊本地震により、建物や化学実験器具・測定機器類の破損・破壊など、大きな被害に見舞われました。しかし、全国の同窓生の皆様のご多大なるご支援と先生方のご尽力を賜りまして、地震前と同じように私達は日々研究に精進することができております。つい先日には、理学部棟内外の壁の補修工事も終了し、補修工事は全て完了いたしました。

続いて学生の今年度の状況についてご報告いたします。現在、化学教室は新たに学部3年生を44名迎え、4年生41名、大学院博士前期課程62名、博士後期課程16名が在籍しております。来年度4月には新たに博士前期課程に30名、博士後期

課程に4名の入学が予定されています。今年度の化学教室公式行事としましては、4月に新たに化学コースに進級・進学してきた3年生と修士1年生を迎えた新歓コンパ、5月と9月の3年生歓迎を兼ねた毎年恒例のソフトボール大会とBQパーティーが開催されました。先生方も含めてたくさんの学生が参加し、より一層親睦が深まったと思います。10月末には『夢科学探検』という小さな子供たちから大人の方まで、幅広い年代の方々に科学の面白さを実体験してもらうイベントが開催されました。多くの研究室が各々工夫を凝らすことで、参加者の方々に科学（化学）への興味を持っていただくための絶好の機会が作れたのではないかと思います。

私達化学教室一同は今後も卒業していかれた先輩方の背中を追って、日々研究に勤しんでいく所存です。今後とも同窓生の皆様には理学部の更なる発展のため、ご指導並びにご鞭撻の程を宜しくお願い致します。最後になりますが、同窓生の皆様のご今後益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

自然科学研究科博士前期課程1年 森永 浩司

地球環境科学教室

熊本地震から早2年が経とうとしています。工学部1号館の建て替えや理学部棟の補修工事などその影響は未だに続いているようですが、その中でも講座員一同、日々勉学・研究に励んでおります。昨年度の地震・阿蘇中岳噴火に加え、本年度は九州北部で豪雨災害も発生し、地球環境科学分野の研究の重要性がより高まっていると感じます。

さて、熊本大学理学部地学科・地球科学科・理学科地球環境プログラム同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。同窓生の皆様に、地球環境科学講座の近況をお知らせいたします。

まず講座教員についてご報告いたします。先端科学研究部 地球環境科学分野に所属されていた長谷中利昭先生ですが、2017年4月に発足したくまもと水循環・減災研究教育センター 減災型社会システム部門の専任となりました。

続いて学生の状況についてお知らせいたします。現在当教室では、3年生18名、4年生29名が、大学院生は留学生・社会人を含めて修士課程20名、博士課程10名の学生が在籍しております。今年度

は講座としてのべ10名の留学生を迎え、グローバル化の波の一端を感じる1年となりました。4月には3年生を歓迎する新歓、11月にはハンマー祭（ソフトバレーボール大会）が行われ、講座全体の親睦を深めることができました。2月には卒論・修論発表会が行われ、学生は日々積み重ねてきた研究の成果を発表しました。先生方とも白熱した議論が交わされ、講座全体にとって非常に実りのある会となりました。

また、本年度は講座から37名の学生（うち修士8名、博士1名）が卒業・修了する予定となっております。学部卒業生のうち13名が就職し、15名が大学院に進学します。それぞれ進む道は異なりますが、これまで得た経験・知識を生かしてご活躍されることと思います。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健勝と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

自然科学研究科博士前期課程1年 白井 大雅

生物教室

春風が心地よい季節となりました。生物教室同窓会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。同窓会の皆様に生物教室の近況についてご報告申し上げます。今年度より、国際先端科学技術研究機構（IROAST）に相田光宏先生、檜垣匠先生の2名が赴任されました。相田先生は、植物発生学の分野において、茎頂分裂組織の形成と機能について研究されています。檜垣先生は、生命現象を視覚的に捉える画像生物学という新しい手法を提唱し、研究が行われています。この2名の先生方を新たにお迎えし、今後も研究に邁進していきたいと思っております。

平成29年度の生物教室では、3年生57名を迎

え、新たな仲間の加わりに喜びを感じております。4月には3年生の歓迎会が行われ、学年や研究室の枠を超え、生物教室全体の親睦がより一層深まったように思います。10月には「夢科学探検」が開催され、多くの研究室が参加し、盛況を得ました。イベントを通して、生物を学ぶことの魅力を小中学生に伝えることができ、大変有意義なものでありました。また、自らも学び直す良い機会となり、生物の面白さを再発見することができました。2月には4年生の卒業論文発表会、博士前期課程2年生の修士論文発表会が行われました。卒業生が自らの研究について熱く語っている姿が印象的で、先生方、学生問わず活発な議論が

繰り広げられ、この先の生物教室の更なる発展が期待できるとても充実した会となりました。これからもより一層努力を重ね、研究に精進していきたいと思います。今後とも同窓会の皆様には、ご指導・ご鞭撻いただきますと共に、変わらぬご支

援の程、よろしくお願い致します。最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

自然科学研究科博士前期課程1年 山崎 皆実

石田昭夫先生を偲んで

先生がお亡くなりになったのは、平成28年9月28日肺癌でした。私が先生の偉大な業績を記す資格があるのか大変疑問です。私は、先生が熊大の助手という時代に2番目の弟子として卒論の指導を受けたこと。その後6年くらいは時折、研究室に顔を出していたこと。それから最近になって、先生が肺癌にかかれて、何度かお会いしたこと。この程度の接触時間の中で、先生の人となりをおぼえておくことをお許してください。

当時、先生の研究室は理学部の本館から離れた木造の一室にありました。私が卒論について、数ヶ月後、広島大学での研究を終え帰郷され、2人の研究室暮らしが始まりました。まず、来客の多いこと、先生方、生徒さん、業者の方と誰にでも親切に対応され、「お茶くれんか」「コーヒーにするか」という言葉と笑顔が今も思い起こされます。夏が来れば、高校野球の話題が毎日、ベスト8が出そろうと、応援グッズ持参で藤崎台に応援に行くパターンだったと思います。

日頃は、「今日はどうだったか」と、研究結果のディスカッションをやって頂き、その後、明日からの研究プランを語らせられて、苦慮した毎日でした。このときは、コーヒーの香りとタバコの煙にまみれての時間でした。研究室に長く留まってじっくりと考え、一挙に攻め込むという研究スタイルをたたき込まれたと思います。教員採用試験の区間の1週間だけ研究をストップしましたが、それ以外は研究を毎日続けられたのも、先生の魅力ある指導の賜物でした。

石田屋というのれんを掲げた研究室では、時折

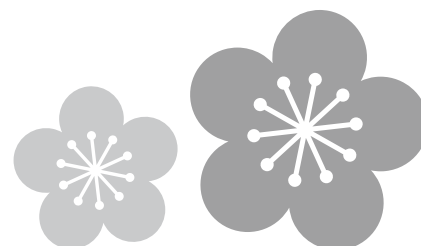
楽しい酒宴がありました。周囲の人を愛し、話す人を明るくされ、しっかりと自分の考えも言われており、我々はいつも先生の幅広い考えに脱帽しておりました。「後は頼んだぞ」と帰って行かれる姿を今も思い起こされます。

亡くなられる数ヶ月前、先生宅を訪ねたとき、「おい、癌の診断に何が使われていると思うか。」とにっこりと質問をされました。私達が当時研究していたグルコース代謝が関係あるぞと、最後の講義を聴きました。萩からの同級生の河上先生と石田先生と私の3家族で水道町のイタリアンレストランでの食事会が最後になりました。

私たち石田屋で学んだ同窓生は、平成29年2月4日に先生のご家族にも参加頂き先生を偲ぶ会を開きました。全国から教え子が80名以上集結しました。大学や関係者の皆様にもご参加頂き感謝致します。その後、年1回熊本市内中心に「偲ぶ会延長戦」を行うことにしております。そのときは、先生の大好きなドイツビールとソーセージの会になっております。なお、山口県萩の平安寺というお寺に先生のお墓はございます。

石田昭夫先生偲ぶ会実行委員会代表

田上 重憲



平成28年度 会計報告

平成28年12月20日～平成29年7月31日

【平成27年度繰越】 ￥15,512,346

【平成29年度繰越】 ￥16,817,071

(化学実験場復旧寄附金￥1,018,000を含む)

【収入】

会費納入	￥1,664,000
化学実験場復旧寄附金	￥1,243,000
カード手数料	￥1,265
小計	￥2,908,265

【支出】

平成29年度学部協力金	￥400,000
平成28年度同窓会報発行	￥945,388
化学実験場復旧寄附金	￥229,000
同窓会長活動費	￥14,330
振込手数料・通信費	￥14,822
小計	￥1,603,540



旧第五高等学校化学実験場復旧工事(平成30年3月24日撮影)

あ と が き

平成29年4月より3年間の理学部同窓会庶務担当を松田博貴先生より引き継ぎました生物学科30回生の寺本です。また、会計担当は大平慎一先生から生物学科43回生の中山由紀先生へとバトンタッチされました。不慣れな二人ですが、どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、熊本地震からやがて丸二年が経とうとしておりますが、理工地区の南キャンパスでは多くのビルの外壁や室内の補修工事が続き、工学部1号館は完全に取り壊しとなり大きな穴が空いております。黒髪・坪井周辺でも古い家屋を中心に次々と取り壊しが続き、更地が目に見えて増えて参りました。また、元々計画されていた道路拡張や橋梁架け替え工事も加わり、大学周辺の風景や環境は大きく変わりました。教育・研究に関しては、卒業生の皆様を初め多方面からの多大なるご支援を賜り、およそ3週間の休校を経て業務を再開することが出来ました。改めまして、御礼申し上げます。また、多くの学生が帰省先あるいは熊本に戻って、避難所などで自主的にボランティアや募金活動をやっていたことを後日知り、胸が熱くなりました。不幸な出来事でしたが、学生諸君は多くのことを学ぶことが出来たと思っております。一年後の受験者数の減少は杞憂と終わり、復興元年の新入生は毎日元気に過ごしております。このような様子は、各教室便りにも記載されていると思います。

また、本年度の熊本大学卒業生表彰を理学部同窓会からは藤木素士様(生物学科昭和33年卒)と

大貝聖子様(数学科昭和44年卒)のお二人が受賞され、11月5日のホームカミングデーで授与式が執り行われました。毎年、ホームカミングデーは学園祭前後に開催されており、熊大HPでアナウンスされますので、是非皆様のご参加をお待ちしております。また、秋には文学部との合同同窓会の計画案もあります。このような同窓会活動を支えているのは皆様から頂きました会費ですので、今後の運営のためにも未納の会員におかれましてはご理解とご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

末筆ながら、会員の皆様のますますのご発展とご健勝をお祈りしております。

(熊本大学理学部同窓会庶務 寺本 進)



平成29年度 熊本大学卒業生表彰(理学部同窓会) 平成29年11月5日
(熊本大学HPより転載)